

# 牛久：学校周辺に見る自然

第5号 ひたち野うしく小

2021年4月24日発行

## ＜ 春はぐんぐん進んでいくよ ～クロスジギンヤンマが羽化しました ＞

みなさん、こんにちは。先週15日に、ひたち野うしく小で百葉箱の手入れをと思い、途中の水辺の塔の池をのぞきました。アサザの葉がずいぶん広がったなと思いながめっていると、ヒメガマでトンボが羽化していました。クロスジギンヤンマでした。数えると、全部で6頭見付き、うち5頭はオスでした。昨年7月末の2年生との観察でも、ぬけがらがたくさん見付きましたね。小さな池ですが、水辺があって水草が植えられていると、トンボは来てくれるのですね。熱心に池の整備をして下さった先生方に感謝です。



クロスジギンヤンマの羽化。オスの羽化は、むねの黒スジやはらの青いもようのようすなどから、①～④のように順に進んだと考えられる。

むねの黒いスジは、羽化が進むにつれ、だんだんとあらわれてくるようです。オスのはらにある青いもようも、はじめはありませんね。それなら、どこでオスカメスカ分かるのでしょうか？ じつは、はらの先端を見ると区別できます。また、トンボによっては、羽化してまもないオスがメスのよう



な姿をしていることもありますが、これもこの部分でどちらなのか分かります。そして、よく似たギンヤンマとの区別も。くわしくは、トンボの図鑑を読んでみましょう。【理科支援員：宮内】

クロスジギンヤンマの、おすとめすの、はらの先端部。